

医学コースプログラム9 国際医療福祉大学医学部見学会

2023.03.07

国際医療福祉大学医学部(成田キャンパス)の見学会を実施しました。
昨年に引き続き、古河中等教育学校と本校との2校合同での実施となりました。
参加者は並木中等11名(引率2名) 古河中等14名(引率1名) 計28名でした。対面での開催が難しい中、このような見学会を開催していただき感謝申し上げます。

1. 日時 令和5年3月2日(金)

① 13:30~14:10 大学紹介 川上 裕 医学部長



<感想文>

筑波大学附属病院の見学は残念ながらオンラインでの実施となったが、今回の病院見学は現地で行うことができ、実際に医学部の大学の校舎を肌感覚で体験することができてとても有意義なものとなった。何より、前半の講義は、自分は何を得意として医師としてどのように社会に貢献するかを深く考えられただけでなく、命の尊さやそれに接する医師としての心構えを学ぶことができた。私は自分が大学に入ったらぜひ海外に行ってみて同じ医学にかかわり、様々な文化をもった多種多様な人々と英語で交流して自分の視野を広げたいと強く感じた。

② 14:20~15:25 W棟施設見学
<医学図書館>



<TBL教室>



<SCOP(成田シミュレーションセンター)>



<感想文>

僕は今まで、大学の医学部の校舎に実際に足を運んで見学をしたことがなかったので、医学部がどのようなものかを知るという目的を持って今回の見学会に参加した。そして、見学の中で様々な発見をすることができた。僕自身の今回の目的を果たすことができたのは校舎内の見学の際だ。実際に生徒が使っている教室、実習室、自習室、図書室などを訪れて見ることで学習の行われている雰囲気を実感することができた。また、教室の種類の多さや実習に使われるシミュレーターの多彩さなどから、医学部で学ぶことの大変さや充実度を感じることができた。オペ室や病室の再現がなされた実習室は非常に実物に近く、緊張感を持った学習ができると思った。学校紹介と講話からは、現在の医学部生に求められていることや海外での学習の重要性についてのお話が特に印象に残った。自分にも、一度日本を外側から客観的に見ることで得られるものがあるかもしれないと感じた。

最後に、国際医療福祉大学には、グローバルリーダーの育成、アクティブラーニングの尊重といった理念やその指導形態に並木中等と似たものが感じられ、並木での学習が大学でも生かされるのだということを強く再認識できた。僕は今回の見学会を通して以上のような内容を学ぶことができた。今回得られたものを進路決定の参考としてしっかり活かし、また受験勉強の励みとして一層頑張りたい。

<感想文>

医学部の建物に足を踏み入れるのは初めてでした。パンフレットやサイトは何度も見たことがあるけれど、やはり百聞は一見に如かず。自分の目で見ると、医学部ではどんな学校生活を送るのか肌で感じる事ができてとても満足できました。特に印象に残ったのは図書館です。医学の専門書がずらーっと並んでいて独特の本のにおいがして、しんと静まり返っていて、その雰囲気胸いっぱい吸い込んでとても心地良かったです。ガウン室から手術室までの流れも本当の病院のようになっていたり診察を練習する部屋が廊下の両側に長く続いていたりしたのを見たときは、「ああ私たちが病院で見る医師はこんなふうに学んで医師になったのか」と舞台裏をのぞいた気持ちになりました。国際医療大学は世界中どこでも活躍できる医師を育てるのに特化した大学だということも感じました。カリキュラムのうち英語という要素が大きな割合を占めていたし、留学生との交流スペースも充実していました。確かに日本の人口減少がこのまま加速していった場合海外でも力を発揮できる人になれば縛られることなく仕事ができるいいだろうなと思いました。また、河上先生の話聞いて私もぜひ大学生になったら海外へ学びに行きたいなと強く感じました。せっかく生きているのだから世界についてもっと知りたいです。

今回の見学を通してやはり医学部に入りたいと思いました。私は今学校の生物の授業でヒトについて学んでいるのですが、とても面白くて好きです。それを大学時代により広く深く学べるというのですからこれはもう最高です。貴重な高校生活をこれからも大切にしていきます。